

① 大井戸

この井戸は大井戸とよばれ、吉田勘兵衛が吉田新田を開いたときに掘ったもので、水質はすぐれ200年にわたって付近住民の飲料水となりました。
昭和20年（1945年）連戦軍によって埋められましたが、昭和62年（1987年）に横浜都市開発史上の一記念物として復元されました。



② 清正公堂分院



「長者町の清正公様」と呼ばれる清正公堂は、関連の守護神として吉田新田の常清寺の境内に開堂供養したもので、江戸時代より広く庶民大衆に崇敬されていました。
現在、常清寺は南区清水ヶ丘に移転しましたが、境内に安置していた清正公堂の別院を「地域の発展と充実に寄与するもの」とし、吉田勘兵衛旧邸宅跡に平成9年（1997年）、建立されました。



平成29年（2017年）は中区制90周年、吉田新田完成350周年です。これを記念して吉田勘兵衛の旧邸宅跡周辺の案内板を設置しました。

横浜市中区役所区政推進課

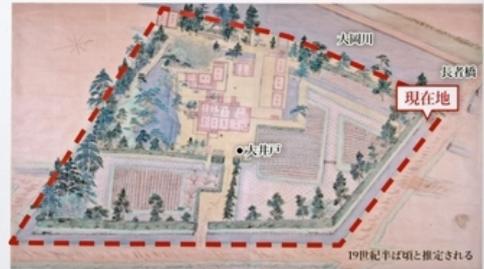
④ 天神阪碑

昭和9年（1934年）に建立されました。
碑には万治2年（1659年）吉田勘兵衛が幕府に吉田新田の埋め立てを申請して許可を得、天神山及び石川中村の大丸山を切り崩し、その土砂で新田を埋め立てた土取場の跡であることと、これに伴って通行の用に供していた無名の坂道を「天神阪(坂)」と命名した由来が記されています。



③ 吉田勘兵衛の旧邸宅図

吉田興産株式会社提供



作品番号：46601003
 作品タイトル：吉田新田関連案内図
 作家：
 キャプション：
 コレクション：OPO
 ソース：
 撮影地：神奈川県 横浜市 中区
 撮影年月日：2018/3/17
 学術名：
 クレジット表記：(c)OPO / Artefactory
 モデルリリース：なし
 プロパティリリース：なし
 ピクセル数：5080px × 3425px
 印刷サイズ：43cm × 29cm
 データサイズ：11.5MByte
 ファイル形式：JPEG